



三八支部通信

三八支部 主催 オンライン研修会

福祉や地域の現状

～議員さんと語ってみよう～

開催日：令和4年10月30日（日）



衆議院議員
神田 潤一 氏



南部町議会議員
工藤 愛 氏
(社会福祉士会会員)

今回は「福祉や地域の現状～議員さんと語ってみよう～」をテーマに、衆議院議員の神田潤一さんと、南部町議会議員で青森県社会福祉士会会員でもある工藤愛さんを、講師としてお招きしました。

研修は、①工藤議員、神田議員からの議員活動報告、②申込者からの事前質問にお答えするよろず一問一答セッション、③参加者と講師が意見交換を行うトークセッションの3部構成で展開されました。

他支部の会員を含め22名の参加をいただき、普段の生活や仕事で感じていることなどを意見交換しながら、社会福祉士が関わる人々の地域での生活や社会福祉士の活動状況について一緒に考える研修となりました。

研修会の様子

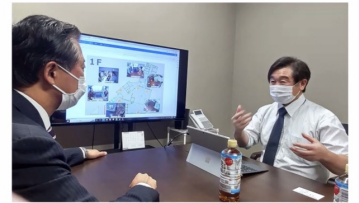


○虐待やDV被害者等、社会的弱者の対応が埋もれないようにする必要があること、大多数の意見が政策に反映されがちだが、少数の意見もみていく必要があることなどについて意見交換しました。



「福祉」に関する現状認識と問題意識

- ・エッセンシャルワーカーとして需要が拡大、過酷な労働環境、賃金は高くない
 - なり手がいない、人手不足、離職率も高い
 - 福祉大の卒業生は幼児保育等に偏重
- ・新型コロナ禍、円安
 - コロナ対応が重い、生活への制約も大きい
 - 外国人の技能実習生にも頼れない
- ・IoTやロボットなどの導入
 - 設備投資が嵩む、人材やノウハウの不足



○福祉制度利用のための各種手続の書類が多く煩雑である等の国の制度としての課題や、社会福祉士の労働環境、福祉におけるデジタル化の未来等について共有しました。



○会員より「多職種と比べ社会福祉士の認知度はまだまだ低いと感じる。社会福祉士をいろいろなところで積極的に活用してほしい。議員活動の中で周知に協力してほしい。」と要望。工藤議員と神田議員は、ホームページやSNSで、当研修について開催周知や開催報告を掲載いただき、周知にご協力してくれました。

○議員より「どんどん声をあげてください。それを実現するのが議員の役目です」とお話をいただきました。アドボカシーの役割を担う社会福祉士として、困難を抱える方や社会福祉士の活動環境がどのような状況に置かれ、どのように改善できたらよいのか、声をあげていく必要があると改めて感じました。